

# Brave Team

第2学年通信 第2号  
発行日 令和2年6月15、16日

不安を乗り越え、  
未来に向かって  
今を大切にす勇氣

## 新しい生活が始まって

ようやく、学校が再開されました。できないこともたくさんありますが、分散登校とはいえ、ようやく、生徒たちとともに授業・学習ができることをうれしく思います。

6月1日、久しぶりに小学生たちが登校班で学校に行く姿を見ました。まだ通学路もよくわからない1年生を、6年生になったばかりの登校班の班長さんが、きちんと優しく導いて、学校に向かっていたことでしょう。また、登校を見守る保護者の方、地域の方、警察の方の姿も多く見えました。見えない不安が渦巻いている中、子どもたちのために、たくさんの人たちが「自分ができることは何か」を考えて行動しているような気がして、子どもたちの健気な行動、大人たちの見守りが、とても尊いことだな、と感じました。

これからの「新しい学校生活」の第1ステージ(6月1日~22日)では、厚木市の指針に従い、「感染防止」と「生徒たちの学習」を両立させ、この二つを、「生徒にとって無理なく進めていく」ために、1日おき・4校時だけの分散登校となりました。これらの目的を達成できるよう、今までとは違う学校生活ではありますが、ご家庭での協力のもと、できることはしっかりやり、できないことも、目的達成のために工夫して、学校教育活動を続けていきたいと思ひます。

誰もが今までに経験したことのない、正解が何なのかかわからないところを、なんとかやっているとこです。知恵を出しながら、助け合いながら、乗り越えていきましょう！よろしくお祈いします。

## 生徒たちの様子から

これまでの休業中の配付日、課題の取り組み状況、この1週間の落ち着いた授業での様子を見て、2年生から、大きな「伸びしろ」を感じました。

- ・ 課題を計画表通りに取り組み、学習の習慣が身についている生徒
- ・ 塾の課題など、学校以外のことも頑張っている生徒
- ・ 課題を再提出するよう指示されたものの、次の配付日にはしっかりやり直してくる生徒
- ・ 去年は提出物を出せなかったけど、今年はしっかり取り組んで提出する生徒
- ・ 疲れた～と言いつつも、前向きに、やるべきことをしっかりやる生徒
- ・ 授業で伝えたことを、とても素直に聞き、意欲的な姿を見せる生徒

などなど、生徒たちの「今年もがんばろう！」「今年こそ、がんばろう！」という気持ちがよく伝わってきました。それに加え、日常の挨拶がすがすがしく、この生徒たちをより大切にしたい、と日々感じています。これからの成長が楽しみです。

\*学校HPに、写真とともに学校の様子が載っています。ぜひご覧ください。

学年主任



## 休業中の課題について

ご家庭でのサポート、ありがとうございます。

3月~5月の休業中、課題をたくさん出しました。とてもよく取り組んでいる生徒もいますが、正直、苦しい生徒もいるようです。ご家庭でも、我が子は宿題が終わっているのか終わっていないのか気になってギスギスしてしまうこともあったかと思ひます。サポートありがとうございます。

学校では、しっかり取り組んだ生徒には相応の評価をつけ、苦しい生徒には、この分散登校期間に担任や教科担当の先生との対話により、できる範囲でやり遂げていけるように指導しています。自分自身だけでは難しい生徒には、学校でサポートできるように声掛けをしていきます。生活面については、ご家庭で見ていただくしか少ないことも多いのですが、学習指導については学校でしっかり指導していきたいと思ひます。お子さまが学習で困っていたり、親としてサポートしたいが、どうしたら良いかわからなかったりするときは、ぜひ「わからないところを、学校で聞いておいて」とお子さまを送り出してあげてください。

## この期間、ご協力いただきたいこと

この分散登校の期間では、生徒たちに次のようなことを指導しています。ご家庭のご協力も必要ですので、ご確認の上、引き続きご協力をお願いします。

- ・ ジャージ登下校(半そで・ハーフパンツでもかまいません)
- ・ 登校する日もしない日も、検温してカード「毎日の健康観察」に記録(登校日には保護者サイン)
  - \* 平熱を確認するため・もしもの時の記録のため
- ・ マスクをしてくる。予備のマスクも持ってくる。(基本的には、マスクの種類は問いません)
- ・ ゴミ袋となる小さな袋を持参する。ティッシュのゴミや使用済みマスク等を入れて持ち帰るため。
- ・ 手洗い・うがい・洗顔→ハンカチ・タオル持参
- ・ 生活面・学習面でも、困ったことは相談(生徒・保護者ともに)
- ・ 登校する日もしない日も、15:00まで家庭学習

\* 登校しない日は、休業中の課題のような形での宿題は出していませんが、体を休ませつつ、通常の登校のときのように、授業で出された宿題や、休業中の課題で終わっていないもの・再提出するもの、将来に向けた自主学習などに取り組みます。

感染防止を前提に、生徒自身の心と体が通常の学校生活に無理なく戻れるよう、次の2点を大切にできるよう指導しています。ご協力をお願いします。

- ① 「**基本的な生活習慣**」を大切にする
- ② **落ち着いて学習に取り組めるこの状況を活かして「将来に向けた家庭学習の習慣」を身に付けられるようにする**

## 2021年度 修学旅行について

学級懇談会でもできませんでしたので…

来年度の修学旅行についてお知らせします。詳細は、来年度にまたお知らせします。今のところ、次のように計画を進めています。また、別紙で、修学旅行代金の積立について旅行会社が作成したお知らせを配付しています。よくお読みいただき、各家庭で手続きをお願いします。わからないことがあれば、学校(担任または2学年主任)までお問い合わせください。

- (1) 日程 2021年9月14日(火)~9月16日(木)
- (2) 行程 1日目:奈良方面 【ひふみ旅館 泊(京都駅前)】  
(6:30 ころ学校集合=バス⇒小田原駅=新幹線⇒京都駅⇒奈良方面)  
2日目:京都市内タクシー班別行動 【ひふみ旅館 泊(京都駅前)】  
3日目:京都市内で体験学習  
(京都駅 12:30 ころ出発=新幹線⇒小田原駅=バス⇒16:00 ころ学校着)
- (3) 費用 59,500円(+2日目の昼食・拝観料・お小遣い等)

そして、熱中症予防  
水筒(中身多め)・タオル

- \* 特に体育のある日
- \* 日々の早寝・早起き・朝ごはん!



## 今年度2年生の教科担当 学級懇談会でもできませんでしたので…

組	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体(男)	保体(女)	技術	家庭	英語
1組							はしもと 橋本	こばやし 小林			かじわら 梶原
2組	はたや 幡矢	しいな 椎名	おび 小尾	こしま 小島	のぐち 野口	やました 山下			しもだいら 下平	いずみ 泉	
3組							はしもと 橋本	こばやし 小林			たなか 田中
4組											

※昨年度行っていた数学の少人数授業は、今年度は行いません

## 卒業後の進路について考えました

総合的な学習の時間の授業から

休業中の課題で、生徒たちに中学校を卒業しからの進路先について考えてもらいました。その中で「進路・高校についての疑問」を書いてもらっていました。そこで、6月5日・8日の総合的な学習の時間、次のようなねらいで各クラス、授業を行いました。



- 生徒の疑問に答える  
(交通手段や費用、成績のこと、など)
- すでに意識をもって努力している仲間(自分と同じ中学2年生)がいることを知る  
\*親や先生が子どもに「考えなさい」というより効果抜群
- 今、何をすべきか、考えて行動に移せるようにする  
(目の前のことを一つ一つやり遂げる。結果につながる学習を積み上げる。面接につながる言葉遣い等の礼儀作法を身に付ける。  
→受験だけでなく、社会に出たときに求められる力につながる。)

自分自身のこととして、多くの生徒たちが主体的に授業に臨んでいました。

\*2年生保護者向けの進路説明会は、2月に行う予定です

### 生徒の声から

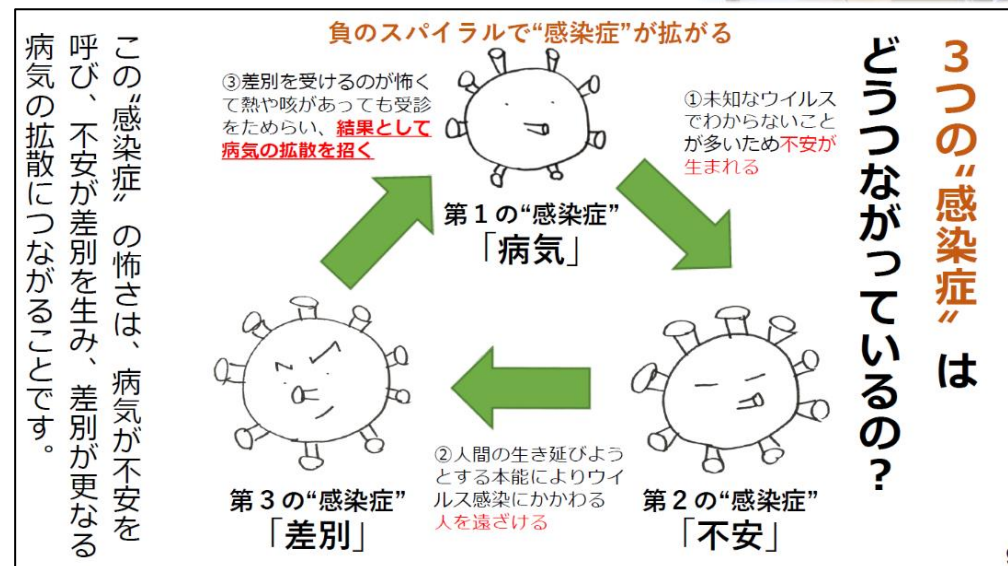
- 今まで、不安だったところが全部わかったので、今回の授業ができてとても良かったです。
- 塾や学校の勉強が、今、しづらい状況なので、家庭学習などをしっかりと取り組み、提出物などに気を付け、内申などをしっかりとって行きたい高校に行けるようにしたい。
- 2年生の成績が入試に響くことを聞いて、1回こわかったけど、逆に言えば、今、一生懸命に勉強すれば、試験の小さなミスはカバーできるということなので、これからも、頑張るって良い成績をとっていきたくらいにしたいと思います。
- いつも長く勉強するクセをつけて、集中力を付けられるようにする。
- 効率的に勉強をするために、今日の目標を立ててから行動をするクセをつける。
- 「高校なんてどこでもいいや」と思っていたのですが「将来にもかかわってくるからちゃんと選ぼう」と思えるようになりました。
- 今までは私立の高校に対して、お金がかかるっていうイメージしかなかったけど、設備が整っているというので、もっと私立についても調べて進路につないでいきたいと思った。
- 学校を下見してから決めればよかった。
- 高校は自分の学力だけでなく、進路や校風も考えないといけないってたいへんだなと思いました。



## 新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう! ~負のスパイラルを断ち切るために~ 道徳の授業から

日本赤十字社のHPに掲載されている資料(下のスライドはその一部)をもとに、「偏見や差別を生まないために」というテーマで道徳の授業を行いました。どんなことを学び、考えたか、ぜひ、お子様に聴いてみてください。

\*この資料は、「日本赤十字社」「新型コロナウイルスの3つの顔」で検索すると、出てきます。ぜひご家庭でもご覧ください。



### 生徒の声から

#### 「病気」対策

- 3密を避けて手洗い・うがいをして大切な人を守る
- なるべく密集しないようにしようと思った
- マスクをつけたり、離れて歩いたり、気を付ける
- エチケットを守る
- 周りに気を配る
- 手洗い・うがいを今までよりやっていたい
- みんなが不安に思っているけど、自分のため・大切な人のために自分ができることはしっかりしたい
- 国とかデパートとかがやっている検温などに協力する



#### 「不安」対策

- デマで色々な人が困る
- ネットの情報をむやみに信じないで自分で考える
- 間違った情報に流されない
- ネットの使い方に気を付ける
- 不安は必ずしも悪いものではないと思うから、その不安をプラス・マイナスのどちらにもっていくかが大切
- 運動をして不安を解消する
- 不安なときは相談する
- 自分には何ができるのか、その行動が本当に正しいかなどを「もう一人の自分」を通して客観的に見ていきたい
- 頑張っている人たちがいる



#### 「差別」対策

- 差別している人に同調しない
- 差別をしてもいいことはない
- 人を見ただ目で判断しない
- 相手の立場になって考える。発言する。
- 自分がかかってしまったときに言われて嫌なことは言わない
- おもしろ半分であってもやめた方がよい
- 何か差別しているところを見たら止めたい
- 周りの人が変わらず接することで、かかってしまった人も不安に押しつぶされることがないと思った
- この状況がおさまっても、差別などは、いつでもしてはいけない
- 病気はすぐに終わらなくても、差別をなくすこと・人の不安をあおらないことはできると思う